St. Luke's International University Repository

聖路加看護大学年報: 2008年度（平成20年度）

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2010-01-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/4728

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

Ⅸ 図 書 館

1．サービスと利用

1）利用者

サービス対象者数は、学内利用者が633人で、内訳は学部生344人、院生120人、教職員172人であった。研究生・研修生・科目等履修生の利用者登録は合わせて12人、学外からの利用者では、聖路加国際病院職員214人、卒業生は117人の希望に応じ登録した。病院職員の登録数は、昨年度に比べ39人増と、昨年に引き続き増加傾向である。

2）閲覧

⑴　入館者・開館日数

年間開館日数は281日であった（**表１**）。年間の入館者総数は95,704人、１日平均では343人と前年度より増加している。

３年目となった学部生・院生と聖路加国際病院職員に対する夜間の開館延長についても利用が伸びている。夜間20～22時の利用をみると、１日の平均が32人、年間推移では６月の利用が47人と最も多く、次いで12月42人、７月と２月が39人であった（**図１**）。

表１　開館日数と入館者数

（　）内の数字は前年度数

開館日数　（日）	281	(279)
うち土曜開館		(48)
入館者数　（人）	95,704	(88,474)
１日平均入館者数	343	(317)
(夜間) １日平均入館者数	32	(25)

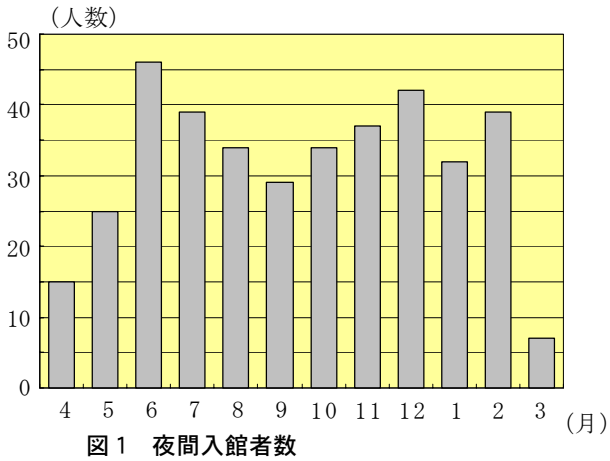


図１　夜間入館者数
（日平均、2008年4月～2009年3月）

⑵　館内複写、機器の利用

館内には利用者用としてコピー専用機が２台、他にプリンターとの共用機が１台設置されている。合わせると利用枚数は233,225枚、前年度の100.4％と微増した（**表２**）。一方、プリンターは専用機が２台あり、合わせた利用枚数は200,530枚で、こちらは前年度比 1.2 倍で、増加率は2006/2007年度と同じであった。

表２　館内複写、機器の利用（枚）　　（　）内の数字は前年度数

複写機	233,225	(232,288)
月平均	19,435	(19,357)
プリンター	200,530	(166,638)

館内の検索用PCは８台、図書館内専用の貸出用ノートPC３台を備えている。ノートPCの貸出総数は413件であり（**表３**）、前年度に比べ、大幅に減少した。

表３　ノートＰＣの貸出（件）　　（　）内の数字は前年度件数

学部生	院生	教職員	その他	計
260(537)	136(127)	14(22)	3 (8)	413(694)

３）貸出

資料別の貸出数をみると、図書と雑誌は前年度より減少し、ビデオは増加した（**表４**）。すべての資料を合わせた総件数は、17,142件で前年度の105％と増加し（**表５**）、一日の平均貸出数は61件で３件減少した。一人あたりの年間貸出し件数では、学部生(342人)は26件、院生(135人)は32件と減少した。全体的に減少の傾向であったが、学部４年生、院生、教職員、研究センター研修生は増加しており、この傾向も前年と同様であった。

表４　資料別の貸出し数　　（　）内は前年度数

	学部生	院生	教職員	その他	総計
図書　（冊）	7,090 (7,409)	3,561 (2,837)	1,177 (875)	1,593 (1,176)	13,421 (12,297)
雑誌　（冊）	1,852 (1,964)	772 (878)	400 (312)	562 (635)	3,586 (3,789)
ビデオ（巻）	35 (94)	3 (4)	97 (78)	0 (0)	135 (176)

表５　利用者別貸出し総件数　　（　）内は前年度数

１年生	２年生	３年生	４年生	修士	博士	教職員	
858 (918)	1,608 (2,471)	4,120 (3,710)	2,391 (2,368)	3,551 (3,266)	785 (453)	1,674 (1,265)	
科目等 履修生	研究生	研修生	卒業生	聖路加国際 病院職員	研究センター 研修生	その他	総計
26 (34)	1 (26)	16 (24)	278 (274)	1058 (943)	764 (380)	12 (44)	17,142 (16,262)

分野別の図書貸出し冊数では、「看護学（WY)」が前年度同様１位であった。全体に占める割合は、前年度46.5％に対し、今年度59.4％であった（**表６**）。1994年度に調査を開始して以降、上位にランクされる分野は、順位が多少入れ替わる程度で大きな変動はない。

表６　分野別貸出し冊数ベスト５　　（冊）

年度	１位	２位	３位	４位	５位
2008	看護学(WY) 7,868	公衆衛生(WA) 639	医業(W) 565	心理学（BF) 558	産科学(WQ) 553
2007	看護学(WY) 5,724	小児科学(WS) 546	産科学(WQ) 534	公衆衛生（WA) 493	精神医学(WM) 486

４）レファレンス・サービス

⑴　カウンターにおけるレファレンス

前年度に比べ全体的に減少した（**表７**）。環境やツールの整備、新しいサービスの開始のために質問の必要がなくなったのか、質問の希望はあるが何か聞きづらい原因があるのか、周知が足りず利用者がサービスを知らないのか、理由を明らかにすることが課題である。

表７　カウンターにおけるレファレンス件数　　（　　）内は前年度数

	学生・院生	教職員	その他（学外者、研究生、博士研究員など）	計
所在・所蔵調査	368（85)	42（3)	36（85)	446(173)
事 項 調 査	139（15)	7（2)	18　(2)	44（19)
利 用 指 導	217（37)	24（3)	67（30)	308（70)
そ　の　他	59（13)	4（1)	66　(2)	129（16)
計	783(150)	77（9)	187(119)	1047(278)

⑵　文献検索相談

司書が個別に相談を受け、利用者とともに検索の過程を見直し、データベース検索を実地に行いながら、アドバイスを行うサービスである。昨年に比べ、４分の１に減った（**表８**）。原因として２点が考えられるが、一つは改善すべき点として相談受付システムの不備があり、二つ目は評価すべき点として後述する利用教育サービスの充実である。可能性として、文献検索の講座開催によって習得の機会が増え、個別の相談に至らなかったのではないかと考えられる。今後の動向に注意し、原因を明らかにしていく必要がある。

表８　文献検索相談件数　　（　　）内は前年度数

学部生	院生（修士）	院生（博士）	教員	その他	計
1（2)	26（104)	3（9)	0（13)	2（13)	32（128)

5）相互利用

⑴　来館による利用

本学の学生が他機関の図書館を利用するために、発行した紹介状は43件で前年度の減少を上回る32件の増加があった。また、他館からの紹介で来館した学外利用者は、昨年に引き続き減少した（**表９**）。

表９　来館した学外利用者数　　（　　）内は前年度数

	学生・院生	教職員	その他	総計
人　　数	69（49）	12（15）	38（35）	119（99）
複写件数	381（268）		156(111)	537(379)

⑵　郵送による複写物の提供

他館から依頼された文献複写の受付件数は、前年度の84.5％となった（**表10**）。2003年度を境にそれまでの増加傾向から減少傾向に転じている。当館から他館への申込みは、2006年度は急激に増加、前年2005年度の165.3％となったものの、今年度は減少し、2002～2003年度並の件数となった（**図２**）。

表10 相互利用(文献複写)件数　（ ）内は前年度数

当館から他館への申込件数		2,588 (2,574)
申込者別内訳※	学部生	197 (305)
	院　生	1,467 (1,329)
	教職員	918 (919)
	その他	6 (21)
申込先館種別内訳	大学･短期大学	1,879 (2,199)
	NDL	31 (9)
	聖路加国際病院	552 (83)
	海外(BLDSC)	50 (68)
	その他	76 (132)
他館から当館における受付件数		3,519 (4,166)
受付館種別内訳	大学･短期大学	2,270 (2,577)
	その他	1,249 (1,589)

※前年度数は聖路加国際病院の申込件数を含んでいない。

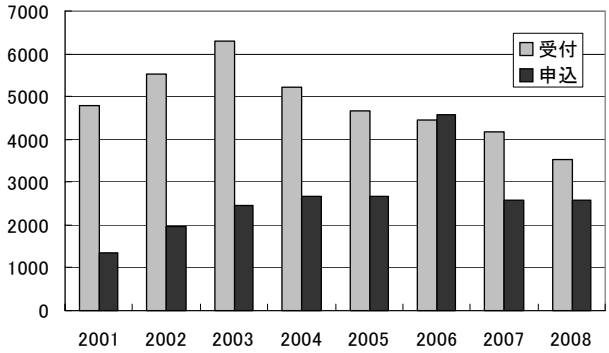


図２　相互利用（文献複写）件数

6）利用教育サービス

⑴　学部・大学院の教育のなかで

新学期のオリエンテーション、授業との連携を通じて、学生が学習段階に応じて、文献の検索、利用のスキルを身につけられるようにプログラムを組んでいる（**表11**）。学部１年生に対しては、４月、オリエンテーションにて図書館の基本的な使い方、また「看護学概論」の授業で、図書の探し方を教えている。５月からの「情報処理演習」では、インターネット上にある健康情報を知り評価する内容を演習し、専門職として情報を利用し提供するための準備とした。学部３年生に対しては、Problem-based learning 方式で行う「家族発達看護論」の一環として、具体的なシナリオのもとに実践における文献の検索・利用について行い、また学部４年生に対しては、看護研究における系統的な文献検索について行った。

授業で対応できない、個別的な案内は文献検索相談の中で対応した。また、各データベースについての操作方法については、聖路加国際病院医学図書館と連携している libil 講座で案内した。また、要望に応じてグループ単位で演習を行った。

表11　利用教育実施状況（学部・大学院）

		対　　象	内　　容	日　　時
オリエンテーション		学部１年生、 学士編入２年生	【図書館利用案内】利用時間、貸出し、複写、資料の配置、OPAC、利用できるデータベース名。聖路加国際病院医学図書館の利用。	４月10日㈭
		大学院修士課程１年生、 博士課程１年生	【図書館利用案内】利用時間、貸出し、複写、資料の配置、OPAC、利用できるデータベース名。聖路加国際病院医学図書館の利用、国会図書館の利用、図書館相互利用によるサービス。	４月17日㈭、18日㈮
		学部１年生、 学士編入２年生	【図書館ツアー】館内資料の配置、利用説明、るかこデスクの利用方法。	４月14日～18日
授業との連携	看護研究Ⅰ	学部４年生	【さあ看護研究！図書館をより使いこなすには？】文献を探すための情報源、医中誌の使い方を思い出そう、PubMed を使って：キーワードの選択から検索まで（思ったようにキーワードが見つからないとき、キーワードが集まってきたら、学術情報の進展と文献を探す順序）、文献管理ソフト RefWorks の使い方。	４月21日㈪、24日㈭
	看護学概論	学部１年生	【図書をさがす】　架でさがす（分類法）、るかこ（OPAC）でさがす、国会図書館でさがす、全国の大学図書館でさがす（以上、授業内30分）。	４月25日㈮
	看護学研究法	大学院修士・ 博士１年生	【さあ看護研究！図書館をより使いこなすには？】　文献を探すための情報源、医中誌 Web、PubMed を使って：キーワードの選択から検索まで（思ったようにキーワードが見つからないとき、キーワードが集まってきたら、学術情報の進展と文献を探す順序）。	４月26日㈯
	家族発達看護論Ⅰ演習	学部３年生	【エビデンスを探す・見つける】EBM のプロセス（以上、教員）、（以下、司書）情報収集はじめの一歩：キーワードを見つけるための取り掛かり、文献を探すための情報源、学術情報の進展と文献を探す順序、医中誌・PubMed でエビデンスを探す方法、情報収集のコツ。	５月12日㈪
	情報処理演習	学部１年生・ 学士編入２年生	【図書館資料を使うこと】　学術情報を使った情報収集行動の理解。 【インターネットで健康情報を収集する】QUICK を使ったサイト評価。 【図書を探す】るかこ、Webcat-Plus、NDL-OPAC 【雑誌論文を探す】シナリオから疑問を整理し、キーワード抽出、医中誌 Web の検索法。 【資料入手・著作権・図書館サービス】文献の入手（リンクリゾルバ、るかこデスク、著作権法の理解。 【発表会】探した情報をまとめて発表する。 【文献情報の整理】RefWorks の使い方。	５月27日～ ７月８日 （毎週火曜日）

libil（聖路加国際病院・看護大学図書館連携）講座	大学院生・教員・病院職員	【医中誌 Web】医中誌 Web を利用すると何が検索できるのか、どうやって検索するのか、検索結果の読み方、シソーラスを使って検索するには、検索結果が多かった場合の絞り込み方法、文献管理ソフトを使って管理するには。	５月19日(月)
		【PubMed 入門】PubMed とは、検索の進め方の基本。検索結果の見方、表示・印刷・保存・メール送付の方法、シソーラス：MeSH とは。	５月26日(月)
		【臨床実践で活用する PubMed 】研究デザインと有効なキーワード、エビデンスを探す、Clinical Queries、知っていると便利な上級機能。	６月9日(月)
		【看護研究に活用するPubMed 】　看護研究で文献を系統的に探す場合のQ&Aを事前に募集し回答。	６月16日(月)
		【検索ざんまいコース】 医中誌 Web, PubMe*d* 入門、PubMed 応用を1日でマスターするコース。	９月27日(土)
		【EBM ツール活用】The Cochrane Library, UptoDate, EBMR, Dynamed。	10月28日(火)
		【初めての CINAHLplus 】CINAHLplus とは、検索、結果の見方、保存、印刷	11月25日(火)
		【JDreamII 入門】 JDreamII とは？、 JMEDPlus の使い方（検索の進め方の基本、検索結果の見方、表示・印刷・保存・メール送付の方法）、日本語インターフェース対応の MEDLINE。（申込者ゼロのため開催せず）。	１月19日(月)

⑵　libil 講座

今年度は両館で提供しているデータベースを含め、全８回予定し７回実施した。前年度、要望が多かった PubMed に関するプログラムを増やした。当館では、おもに大学院生、教員を対象とし広報した。参加者は、全７回を合計すると延べ171人、うち56.7％(97人)が看護大学の学生・教員であった。最も多かった回は、９月に実施した検索ざんまいコースの「PubMed 入門」で32人（看護大学13人、病院19人）であった（**図３**）。

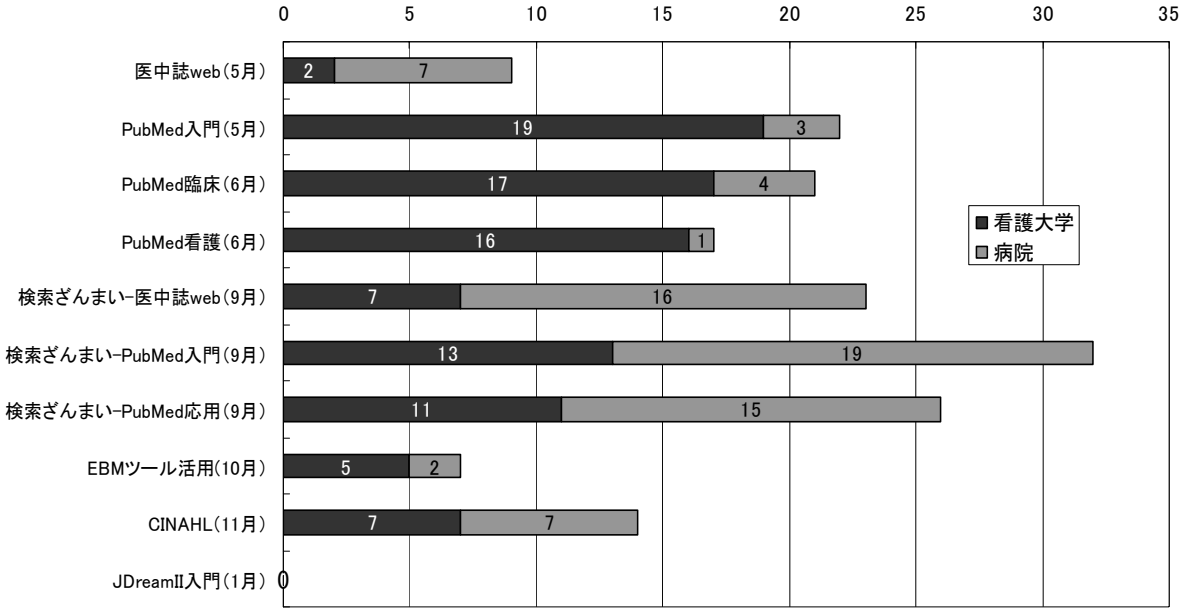


図３　libel 講座参加人数

⑵　生涯教育のなかで

看護実践開発研究センターが実施する生涯教育のプログラムに協力している(**表13**)。ナーススキルアップ講座におけるEBNの講座は、前年度は臨床の場に出張して実施する計画を立てたが応募がなかった。

2008年度より認定看護師教育課程の３コースが開始し、共通科目である「文献検索・文献講読」の授業の一部を担当することとなった。この科目と連動して、図書館がよく活用された。

表13　利用教育実施状況（生涯教育）

	対　　象	内　　容	日　　時
認定看護管理者ファーストレベル看護情報論「文献検索」	コース受講者（看護師）	【エビデンスを入手するために臨床で活用するデータベース】臨床上の疑問を明確にし、情報収集を行うツールを知る。 【エビデンスを探そう！】最新看護索引 web,JDreamII を使ってエビデンスを検索。	８月26日㈫
認定看護師教育課程「文献検索・文献購読」	コース受講者（看護師）	【エビデンスを探そう！】 シナリオから導きだしたキーワードを使って、医中誌と PubMed を検索し、エビデンスを探す。	８月28日㈭

２．コレクション

１）受入資料

⑴　図書・視聴覚資料

図書館における受入れ冊数は、2007年度に引き続き減少している（**表13**)。2008年度は購入782冊、寄贈238冊、計1,020冊で、前年度比56.5％となった。これは、まず前年度、寄贈図書の受入れに人員を充て集中的に整理したことがある。次に看護実践開発研究センターにて認定看護師教育課程が開始し、その予算による購入119冊が増加したことがあった。

９月に実施した見計らい選書会では346冊を選定、図書委員会での検討の結果、337冊を購入した。購入図書における選書会選定の割合は37.0％であった。

⑵　逐次刊行物・電子ジャーナル

逐次刊行物は白書、統計類などを含め854誌を受け入れた（**表14**)。

2008年度は購読雑誌の見直しを行った。まず、図書館内で利用調査を2007年11月１日～2008年８月31日まで実施した。次に一度も利用のなかったものから、学会誌やデータブックなどを除き、洋雑誌21タイトル、和雑誌３タイトルを対象とし、全教員にアンケート調査を行った。調査をもとに図書委員会で検討した結果、洋雑誌１タイトル、和雑誌１タイトルの購読中止が決まった。これに加え、インターネットにおいて無料で閲覧できるもの、電子ジャーナルを契約したものについて中止することとなった。最終的に2009年１月より35タイトルを中止することとなった（**表15、16**)。

電子ジャーナルは、パッケージとして、Blackwell 社の STM コレクション、EBSC*O* 社の CINAHL with Full text に含まれるコレクション、Elsevier 社 ScienceDirect Health Sciences を契約、また、無料の電子ジャーナルも積極的に登録し、合わせて5,134タイトルを提供した。2009年度から、LWW 社系列出版社刊行の看護雑誌コレクション Ovid Nursing Full Text Plus

を契約することになっている。

⑶　文献データベース

国内は、医中誌 web、MAGAZINEPLUS、聞蔵、CiNii の４タイトルを契約している。*最新看護索引*は長らく冊子が刊行されていたが、web 版が３月12日にリリースされ、こちらも契約した。外国は、Ovid 社と契約し、PsycINFO、BNI(British Nursing Index)を提供、特約で MEDLINE も提供されている。このほか、The Cochrane Library (Wiley InterScience) と、CINAHL Plus with Full text　(EBSCO Information Services) を合わせ、全部で６タイトルを提供している。

表14　受入資料　　**(　　)内は前年度数**

			和		洋		合計	
図 書（冊）	購入	図書館	616	(870)	166	(40)	782	(910)
		研究室	97	(130)	18	(23)	115	(153)
		研究センター	287	(56)	2	(11)	289	(67)
		教育予算	3	(16)	0	(0)	3	(16)
		助成金等	0	(4)	0	(1)	0	(5)
		製本雑誌	100	(214)	153	(156)	253	(370)
	寄贈	図書館	236	(827)	2	(68)	238	(895)
		研究室	50	(22)	3	(0)	53	(22)
		助成金等	494	(459)	84	(56)	578	(515)
	合　計		2,043	(2,598)	428	(355)	2,471	(2,953)
視聴覚資料（巻）	購入	図書館	36	(16)	0	(1)	36	(17)
		研究室	0	(0)	0	(0)	0	(0)
		教育予算	9	(16)	1	(0)	10	(16)
		助成金等	0	(14)	0	(0)	0	(14)
	寄贈	図書館	12	(9)	0	(0)	12	(9)
		研究室	0	(0)	1	(0)	1	(0)
		助成金等	17	(34)	0	(0)	17	(34)
	合　計		76	(89)	2	(1)	78	(90)
逐次刊行物（誌）	全タイトル		707	(703)	147	(164)	854	(867)
	新規		4	(9)	4	(1)	増減-13	(-44)
	中止		0	(54)	21	(0)		
電子ジャーナル（誌）			5,134 (5,041)					
文献データベース			8	(8)				

表15　新規購読が決まった雑誌（2009年１月より）

	誌　　名	出版者
1	臨床スポーツ医学	文光堂

（研究室のみで新規購読となった雑誌）

2	（柳井研）　Psychometrika	Psychometric Society

表16　購読中止が決まった雑誌（2009年１月より）

	誌　　名	出版者
1	The Social service review	University of Chicago Press
2	Community mental health journal	Human Sciences Press
3	World Health Organization technical report series	WHO
4	Bulletin of the World Health Organization	WHO
5	Home Health Care Management & Practice	Aspen Publications
6	Journal for Specialists in Pediatric Nursing	Nursecom
7	The International journal of psycho-analysis	International Psycho-Analytical Press
8	Advances in nursing science	An Aspen Publication
9	The American journal of nursing	J.B. Lippincott
10	Cancer nursing	Masson
11	Computers informatics nursing	Lippincott Williams & Wilkins
12	Clinical nurse specialist	Williams & Wilkins
13	Critical care nursing quarterly	Aspen Publishers
14	Dimensions of critical care nursing	Lippincott
15	Holistic nursing practice	Aspen Publishers
16	Journal of nursing administration	Journal of nursing administration
17	Journal for nurses in staff development	Lippincott-Raven
18	The Journal of cardiovascular nursing	Aspen Publishers
19	The Journal of neuroscience nursing	The Association
20	Journal of nursing care quality	Aspen Publishers
21	Journal of WOCN	Mosby-Year Book
22	MCN : the American journal of maternal child nursing	American Journal of Nursing Company
23	Nurse educator	Nursing Digest
24	Nurse practitioner : American journal of primary health care	Health Sciences Media and Research Services
25	Nursing administration quarterly	An Aspen Publication
26	Nursing management	S-N Publications
27	Nursing research	American Journal of Nursing Company
28	Nursing : the journal of clinical excellence	Intermed Communications
29	Orthopaedic nursing	National Association of Orthopaedic Nurses
30	日経サイエンス：Scientific American 日本版	日経サイエンス社
31	国民健康･栄養調査報告	第一出版（発売）
32	子ども白書	緑星社
33	助成団体要覧 ： 民間助成金ガイド	助成財団資料センター
34	白書の白書	木本書店
35	福祉・衛生 統計年報	東京都福祉保健局
36	文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧	ぎょうせい

2）除籍資料

内容が古くなり研究室から返却された研究図書、閉架書庫へ移動した図書の複本など 500 冊を除籍した（**表 17**）。

表17　除籍資料　　（　　）内は前年度数

	和	洋	合計（冊）
図　　書	472（267）	28（66）	500（333）
製本雑誌	0　（0）	0　（0）	0　（0）
計	472（267）	28（66）	500（333）

3）蔵書点検結果

３月に行った蔵書点検の結果、雑誌54冊が不明であることがわかった（**表18**）。これまで図書と雑誌の点検を交互に行っており、2008年度は図書の点検の年にあたり、2006年４月より2009年３月までの３年間の間に不明となった図書が明らかになった。前回の件数に比べると倍以上の図書が紛失している。不明資料は一覧表を掲示して返却を呼びかけており、除籍は保留している。

表18　不明資料　　（　　）内は前回2006年度の件数

	和	洋	合計（冊）
図　　書	49（17）	5（2）	54（23）

4）所蔵資料総数

2007 年度の蔵書数に受入資料、除籍資料を増減した結果、2008 年３月末日現在の所蔵数は、蔵書（図書・視聴覚資料）72,377 冊、所蔵雑誌数は 2,023 誌となった（**表 19**）。

表19　所蔵資料総数

図書　（冊）			視聴覚(巻)	合計	学術雑誌　（誌）		合計
和	洋	製本雑誌			和	洋	
52,343	10,120	8,583	1,331	72,377	1,623	400	2,023

3．環境

1）設備

1996年９月に新校舎移転以来、10年を経過し、環境・設備面で様々な不具合が出てきており、閲覧席の拡張および整備を必要になってきている。

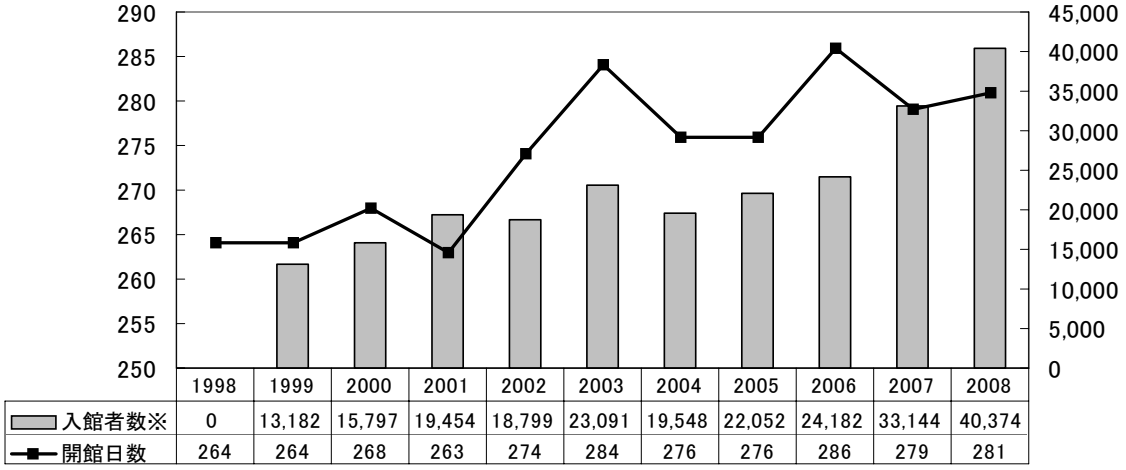
⑴　閲覧環境の整備

全体的に入館者数が増えており、閲覧席に足りなくなってきている。統計をみると、1998 年度は55,330 人であったが、2008 年度は95,704 人と当時に比べて約1.7倍に増えている（**図３**）。特に最近３年間の増加が顕著である。前年度報告したが、前期（4月～7月）の入館者数が多い

時期には、授業中以外は閲覧席が常に満席に状態であった。これまで、夏季休暇中は利用が落ち込んだが、卒業研究を準備する学部４年生、認定看護師教育課程３コース、認定看護管理者ファーストレベル受講生によって常に８割程度利用されていた。

また、夜間は、実習のため夕方から来館する学生、聖路加国際病院医学図書館との連絡通路によって、病院職員の利用も引き続き増加している。

学生図書委員会においても、度々、閲覧席が足りないという意見が出されており、解決策として、ゆとりのスペースとなっているブラウジング・コーナー、ロッカールーム等の見直しを検討していきたい。



	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
入館者数※	0	13,182	15,797	19,454	18,799	23,091	19,548	22,052	24,182	33,144	40,374
開館日数	264	264	268	263	274	284	276	276	286	279	281

図３　過去 10 年間の入館者数の推移

※数字は 1998 年度（55,330 人）を 0 とした増加数

⑵　書架増設の必要性

当館の収容力は書架の棚板をすべて合わせた長さが1,861m、ここから積算される収容可能冊数は51,694冊（棚板の長さ÷0.9×25）であり、すでに蔵書数は、これを上回っている。過去10年間の経年の増加実績から計算しても、2010年度には、収容冊数を超えてしまう。さらに、最近、年間2,000冊弱の研究図書が移管対象とされるようになった。これは、1980年代の大学院設置時、または「特色ある教育研究」等の補助金で購入した図書が役割を終えたためと考えられる。現在、保存スペースの確保の方法として、「書架の増設」と「倉庫への委託」の２案を検討したが、このうち「倉庫への委託」についてはランニングコストの面から適切ではないと判断された。「書架の増設」について2010年度予算化に向けて準備をすすめている。

２）図書館システム

図書館システムは、2004年度に新システム *LVZ* を導入したが、Web 上で動作するアプリケーションの進歩等の変化に伴い、陳腐化していく傾向にある。前システムは７年間使用したが、そのときよりも環境の変化が早くすすんでおり、2010年度予算化に向けて準備をすすめている。CARIN（京セラ丸善システム）、NeoCILIUS（日本事務器）、e-Cats library (NEC)、limedio (リコー) についてデモンストレーションを実施した。

電子図書館システム、研究成果リポジトリは、21世紀 COE プログラムの成果公開のために Dspace を導入し強化が図った。OpenURL 化をすすめ、Google などの検索エンジンからもアク

セスしやすくした。また、研究者が業績データを自ら登録しやすくするための機能を追加し、学内全体の研究成果情報を集積するシステムを整えた。

４．組織と連携

１）職員

１日あたり、専任職員４名、委託職員２名、パート職員１名の体制となった。このうち、専任４名、委託２名は司書資格を有する。専任職員は平日午前８時～午後４時まで２名、午前10～午後６時まで２名、委託職員は平日の午後12時～８時、パート職員は午前10時～午後６時までの勤務である。土曜日は午前９時～５時まで専任・委託１名ずつとなる。図書館が大学史編纂・資料室事業を担当することとなり、現在の体制となった。

２）委員会

⑴　図書委員会

委員：中山和弘（委員長、図書館長）、有森直子、田代順子、矢ヶ崎香、安ヶ平伸枝、松本直子、金澤淳子

回次	日　　時	内　　容
1	４月７日（月）	2007年度蔵書点検(雑誌)結果報告、新任職員採用 2008年度委員会計画、2008年度図書館暦(案)の検討
2	５月13日（火）	2007年度図書館運営報告 出張報告（松本：日本看護図書館協会総会・著作権フォーラム）
3	６月３日(火)	認定看護師教育課程研修生へのサービス 出張報告（新沼：NII 目録システム講習会）
4	７月１日(火)	資料費執行状況報告（4月～6月） ロッカー点検報告、雑誌の利用調査中間報告 見計らい選書会実施計画検討、夏季休暇中の予定
5	９月２日(火)	研究業績登録インターフェース（リポジトリ）の進捗状況報告 雑誌の見直し手順検討
6	10月７日(火)	リポジトリ業績データ入出力モニター調査報告 見計らい選書会アンケート集計報告 雑誌の見直し：購読中止雑誌の決定、2008年新規購読雑誌検討 見計らい選書会購入図書決定
7	11月４日(火)	出張報告（松本：16th Cochrane Colloquium)、雑誌発注報告 図書館教育予算案の検討
8	12月２日(火)	「聖路加看護大学電子図書館システム規程」改正検討
9	１月６日(火)	ロッカー点検報告
10	２月４日(水)	「図書館における個人情報取り扱い内規」改正検討
11	３月４日(水)	「図書館における個人情報取り扱い内規」改正検討 「聖路加看護大学事務組織及び事務分掌規定」図書館部分確認 リポジトリで公開する業績データの取り扱い

⑵　学生図書委員会

委員：各クラスより２名ずつ選出された委員、司書で構成

内容：５回開催

各クラスへの図書館活動の連絡および意見収集などを行った。2008年度は図書館に対するアンケート調査を行った。

３）連携

⑴　看護実践開発研究センター

看護実践開発研究センターが実施する、看護専門職向け、市民向けの生涯教育のプログラムに協力している。また、共同して市民に向けて健康情報の提供を行う事業を行い、『るかなび：聖路加健康ナビスポット』の活動に参画している。その一環として、2008年度は、研究センターホームページのリニューアル作業の支援を行った。

⑵　聖路加国際病院

libil プロジェクトによってこの他に両館で提供しているデータベースを含め、全７回実施した。また、各データベースの書誌データから電子ジャーナルの全文データへとリンクするリゾルバーを共同して運用した。2009年度は双方の条件が折り合わず別のシステムを契約することとなった。

⑶　他機関への協力

図書館司書として看護界における情報リテラシー向上の一助として、他機関からの依頼により、文献検索等の講義を行った（**表20**）。

表20　他機関への協力

対象機関	担当者	時限数
東邦大学　医学部　看護学科	松本直子	1
聖母大学　大学院	〃	2
東京都ナースプラザ	〃	1

５．経費・資産

文献データベースなど電子媒体資料の契約料は、資料費とは別に、図書館運営費の中で予算計上している。逐次刊行物の価格が下がったのは、Elsevier 社の前年度に続いて電子ジャーナルの契約費用も予算を圧迫している。教育・研究に必要な情報源を整備するため、補助金申請をするなどの策を講じて購入できるよう努力していきたい。

表21　決算額　　（　　）内は前年度数

図書館資料費				教育予算（図書館運営費）		
図書	逐次刊行物	視聴覚資料	資料費合計	製本雑誌	文献データベース	電子ジャーナル
3,544,194 (3,493,673)	7,637,807 (10,340,710)	533,295 (287,856)	11,715,296 (14,122,239)	544,582 (741,195)	2,822,375 (36,668,005)	2,712,250 (1,559,210)